【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第２区分
【発行日】令和1年9月19日(2019.9.19)

【公表番号】特表2018-523710(P2018-523710A)
【公表日】平成30年8月23日(2018.8.23)
【年通号数】公開・登録公報2018-032
【出願番号】特願2018-527853(P2018-527853)
【国際特許分類】
Ａ６１Ｋ　39/395　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　 9/127　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　 9/06　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　38/20　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　47/68　(2017.01)
Ａ６１Ｋ　47/34　(2017.01)
Ａ６１Ｋ　35/17　(2015.01)
Ａ６１Ｋ　35/28　(2015.01)
【ＦＩ】
Ａ６１Ｋ　39/395　N
Ａ６１Ｋ　39/395　T
Ａ６１Ｋ　 9/127
Ａ６１Ｋ　 9/06
Ａ６１Ｋ　38/20
Ａ６１Ｋ　47/68
Ａ６１Ｋ　47/34
Ａ６１Ｋ　35/17
Ａ６１Ｋ　35/28

【手続補正書】
【提出日】令和1年8月9日(2019.8.9)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
腫瘍に向かい、生物活性タンパク質を含むナノ構造体と共役している、有核担体細胞を含む組成物、ここで担体細胞はＣＤ４５受容体を有し、ＣＤ４５受容体に結合するリガンドを有するナノ構造体と共役している、または担体細胞は負に帯電した細胞膜を有し、ナノ構造体が細胞膜と静電的に相互作用するポリカチオン性表面を有する、ここでナノ構造体はタンパク質ナノゲルまたはリポソームであり、リガンドは抗ＣＤ４５モノクローナル抗体である。
【請求項２】
担体細胞が、ＣＤ４５受容体を有し、ＣＤ４５受容体に結合するリガンドを含むナノ構造体と共役している、請求項１に記載の組成物。
【請求項３】
担体細胞が負に帯電した細胞膜を有し、ナノ構造体が細胞膜と静電的に相互作用するポリカチオン性表面を有する、請求項１または２に記載の組成物。
【請求項４】

ポリカチオンがポリリジンである、請求項３に記載の組成物
【請求項５】
ポリカチオンが、ポリエチレングリコール－ｂ－ポリリジン（ＰＥＧ－ＰＬＬ）である、請求項３に記載の組成物。
【請求項６】
ナノ構造体がタンパク質ナノゲルであり、タンパク質ナノゲルが、分解性リンカーを介して互いに可逆的かつ共有結合的に架橋する、複数の生物活性タンパク質を含む、請求項１～５のいずれかに記載の組成物。
【請求項７】
分解性リンカーが、ジスルフィド結合を含む酸化還元応答性リンカーである、請求項６に記載の組成物。
【請求項８】
ナノ構造体がリポソームであり、リポソームが複数の生物活性タンパク質を含む、請求項１～５のいずれかに記載の組成物。
【請求項９】
リポソームが、膜間架橋多重層ベシクル（ＩＣＭＶ）または単層ベシクルである、請求項８に記載の組成物。
【請求項１０】
担体細胞が、Ｔ細胞、Ｂ細胞、ナチュラルキラー（ＮＫ）細胞または造血前駆細胞である、請求項１～９のいずれかに記載の組成物。
【請求項１１】
担体細胞が、ＣＤ８$^{+}$ Ｔ細胞、ＣＤ４$^{+}$ Ｔ細胞、養子導入Ｔ細胞およびキメラ抗原受容体（ＣＡＲ）Ｔ細胞から選択されるＴ細胞である、請求項１０に記載の組成物。
【請求項１２】
生物活性タンパク質が抗体またはサイトカインである、請求項１～１１のいずれかに記載の組成物。
【請求項１３】
サイトカインが、ＩＬ－２、ＩＬ－１５またはＩＬ－１５－Ｓａである、請求項１２に記載の組成物。
【請求項１４】
サイトカインがＩＬ－１５－Ｓａである、請求項１２に記載の組成物。
【請求項１５】
ＩＬ－１５－Ｓａが、二量体ＩＬ－１５ＲαＳｕ／Ｆｃおよび２分子のＩＬ－１５Ｎ７２Ｄを含む複合体を含む、請求項１４に記載の組成物。
【請求項１６】
二量体ＩＬ－１５ＲαＳｕ／Ｆｃが、配列番号２に記載のアミノ酸配列を含み、ＩＬ－１５Ｎ７２Ｄ分子が、配列番号１に記載のアミノ酸配列を含む、請求項１５に記載の組成物。
【請求項１７】
薬学的に許容し得る担体をさらに含む、請求項１～１６のいずれかに記載の組成物。
【請求項１８】
生物活性タンパク質を、腫瘍を有する対象に送達する薬物としての使用のための、請求項１～１７のいずれかに記載の組成物。
【請求項１９】
腫瘍が固形腫瘍である、請求項１８に記載の組成物。
【請求項２０】
がんを処置する薬物としての使用のための、請求項１～１７のいずれかに記載の組成物。